

## 第 2 1 回 豊田市市政顧問会議 <公表用>

---

【日 時】平成 3 0 年 1 1 月 1 9 日（月）午前 9 時～午前 1 0 時 3 0 分

【場 所】豊田市役所 南 5 2 会議室

【出席者】会 長 奥野 信宏（公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都  
市センター長）

副会長 三宅 英臣（豊田商工会議所 会頭）

委 員 伊藤 葉子（中京大学 現代社会学部 准教授）

同 上田 達郎（トヨタ自動車株式会社 専務役員）

同 小澤 仁和（愛知県労働者福祉協議会 豊田支部長）

同 柴田 文志（あいち豊田農業協同組合 代表理事組合長）

同 古川 利考（豊田市区長会 会長）

市 長 太田 稔彦

副市長 杉山 基明

副市長 磯谷 裕司

【次 第】1 開会

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議事

・ M I C E によるまちの活性化について

5 閉会

---

【概要】

・ M I C E によるまちの活性化について

## <主な意見>

- ・ 駅前にホールや飲食店街がある。会議や展示会は一つの会場で全ておさめることがよくあるが、このエリアを使う。コンパクトに駅前の機能を使う。
- ・ おいでん・さんそんセンターの取組や、若手プロ農家の起業、農家民宿など豊田の地の利とこれまでを生かした、農を核にした研修を企画すると良い。
- ・ M I C Eで決定的に必要なものは宿泊施設。市内に少ない。連泊することを前提にイベントや会議を組む必要がある。
- ・ 簡単に宿泊ができる設備みたいなもの、例えば鞍ヶ池のパーキングを大きく拡充して、キャンピングカーやトレーラーハウスで泊まりながら移動する。移動の仕方を提案すると行動範囲が広がる。農村舞台を順番に回りながらイベントを組んだり、連泊を前提としたイベントの組み方があるとおもしろい。
- ・ 弱みを強くするより、強みをより強くする。弱いところはタイアップする。例えば、スポーツと農林業について連携してやっていく。
- ・ 豊田市はやはりものづくり。次世代エネルギーあるいは最先端技術と、足助の有形文化財、美術館、ミネアサヒ、菊石、空等がつながると良い。工業的なものづくりと農産業をつなげて世界にアピールできると良い。
- ・ インフラも含めて豊田はまだ発展途上。M I C Eがいきなり出てくると大き過ぎる気がする。
- ・ 2027年リニア開通を吉とするには、残りの期間で、今ある財産を生かし強みとして伸ばし、豊田市でなければだめだ、豊田市が良いという素地をつくる必要がある。
- ・ 町には、史跡、旧跡いろいろある。埋もれているところもあるが、それをつなげていくことが大事。
- ・ 行政の積極性は非常に大事。民間企業がとれるリスクと行政がとれるリスクは質的に違う。
- ・ 行政とか既存の発想ではなく、若い人にある程度フリーハンドで任せれば動いていく。ブレーキは事が起きたら考える。豊田はやりやすいという環境を提供すれば自然と人が集まってくると実感している。

(以上)